

日商簿記 1 級&全経上級ダウンロード講座 商会 No.2【棚卸資産と商品販売】

収録日：平成 25 年 6 月 12 日

【出題実績】

日商簿記 1 級過去問	商業簿記	棚卸資産は連結以外では、ほぼ毎回 特殊商品販売（委託販売）は 120 回と 128 回で出題
全経簿記上級過去問	商業簿記	棚卸資産は連結以外では、ほぼ毎回 156 回・168 回で特殊商品販売の総合問題
	会計学	168 回で概念 FW と企業会計原則の問題の中で出題

P22 の③棚卸減耗損と商品評価損の内容が、試験にはよく出ている

資産総論

概念フレームワーク（考え方の枠組み）

資産の定義を積極的に行った（一番わかりやすい）・・・会計学 P14

過去の取引または事象の結果として報告主体が支配している経済的資源（CF 獲得能力）

反対概念として負債の定義

経済的資源を引き渡す義務（≡資産を引き渡す義務）

その差額が純資産

資産の分類

正常営業循環基準と 1 年基準

資産の評価

貨幣性資産（現金／売掛金のように、換金できる資産と考えよう）

回収可能価額（売掛金－貸倒引当金）

費用性資産（減価償却費／備品のように、費用にかわる資産と考えよう）

取得原価を費用と資産に配分（費用配分の原則）

資産の分類

金融資産（金融投資）

事業資産（事業投資）

棚卸資産

継続記録法と棚卸計算法

貸借対照表価額と市場の関係

金融資産：購入市場と売却市場が同じ→時価把握が容易

事業資産：購入市場と売却市場が異なる→正味売却価額や再調達原価で計算

一般商品売買

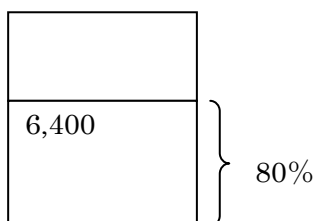
一般商品売買を理解しておく事は上級簿記を学習するのであれば、常識と考えておこう。

原価率と利益率と付加率

売価の求め方

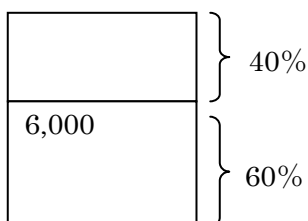
A商品は原価 6,400 円 原価率 80%

売価は $6,400 \div (\quad) =$



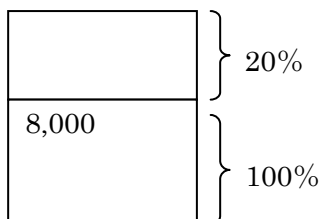
B商品は原価 6,000、利益率 40%

売価は $6,000 \div 60 \times 100$



C商品の売価は原価 8,000 円に 20%付加

売価は $8,000 \text{ 円} \times 1.2$

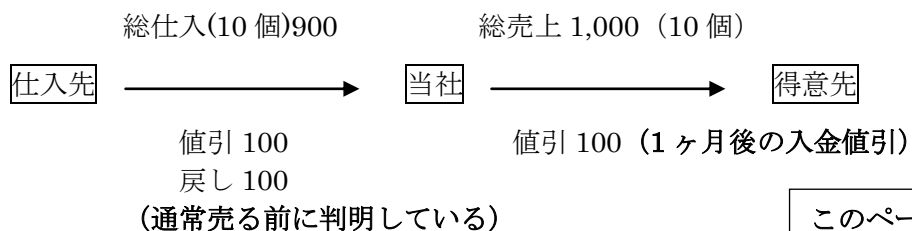


値引・割戻・返品と原価率の算定

返品は取引の取消だから、いずれも控除する
仕入は取得原価で評価するから控除する
売上を控除しない理由は次のページ

	総仕入高から	総売上高から
値引・割戻	控除する	控除しない
返品	控除する	控除する

<売上値引・割戻しは原価率算定で何故控除しないのか>



<値引前>

900	700
-100	
-100	
	0

70% 1,000

この会社の本来の原価は 70%

このページの説明の後半で仕入を値引 200 円に修正して説明しています。返品のみで説明していましたが、数量が合わなくなったので訂正しました。

<売上返品 100 円ありとする>

900	630
-100	
-100	
	70

70% 900

(売上返品分は期末商品になる)

返品行為は原価率に影響しないから控除可

<売上値引 100 円ありとする>

900	700
-100	
-100	
	0

77.7% 900

(値引分は商品もどる訳ではない)

原価率は事前に決めるもの。値引行為で原価率に影響するから控除不可

損益計算書では、純粋な売上高を表示したいので、値引は控除します

練習問題

前 T/B (抜粋)

仕入 2,400	売上 3,250
売上値引 200	仕入値引 100
売上戻り 150	仕入戻し 60

※売上は売上割引 100 円控除後の金額である

P/Lで売上割引は控除してはいけない
(修正仕訳) 売上割引 100/売上 100

修正後 T/B

仕入 2,400	売上 3,350
売上値引 200	仕入値引 100
売上戻り 150	仕入 60
売上割引 100	

原価率 = 原価 / 売上

売上 = $3,250 + (\text{修正仕訳 } 100) - 150 = 3,200$ (値引は控除しないが返品は控除する)

原価 = $2,400 - 100 - 60 = 2,240$ (返品も値引も控除する)

∴ 原価率 = 70%

(売上は一旦全部引いてから、値引きだけ加算する方法で覚えてもいい)

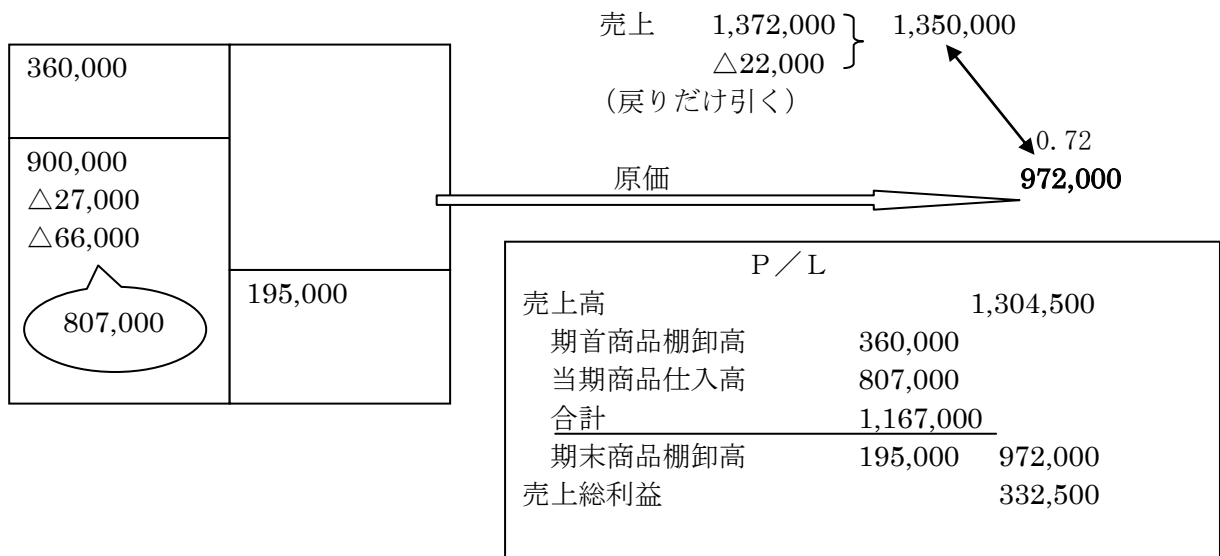
(練習問題)

前T/B

繰越商品	360,000	売上	1,372,000
仕入	900,000	仕入値引	27,000
売上値引	45,500	仕入戻し	66,000
売上戻り	22,000	仕入割引	9,000
売上割引	4,500		

期末商品は195,000円である

この資料に基づき、原価率の算定とP/L作成を行ないなさい



特殊商品販売

実現主義



商品をお客さんに引き渡す行為

現金等価物の受け取り

同じタイミング：一般商品売買

タイミング違う：特殊商品売買

日商1級・全経上級で出題される内容

委託販売・試用販売	手許商品区分法	その都度法
		期末一括法
	対照勘定法	
割賦販売	販売基準	
	回収基準・回収期限到来基準	未実現利益整理法
		対照勘定法

P 8 の練習問題で確認しよう（手許商品区分法・期末一括法）



④仕入 500,000 / 買掛金 500,000

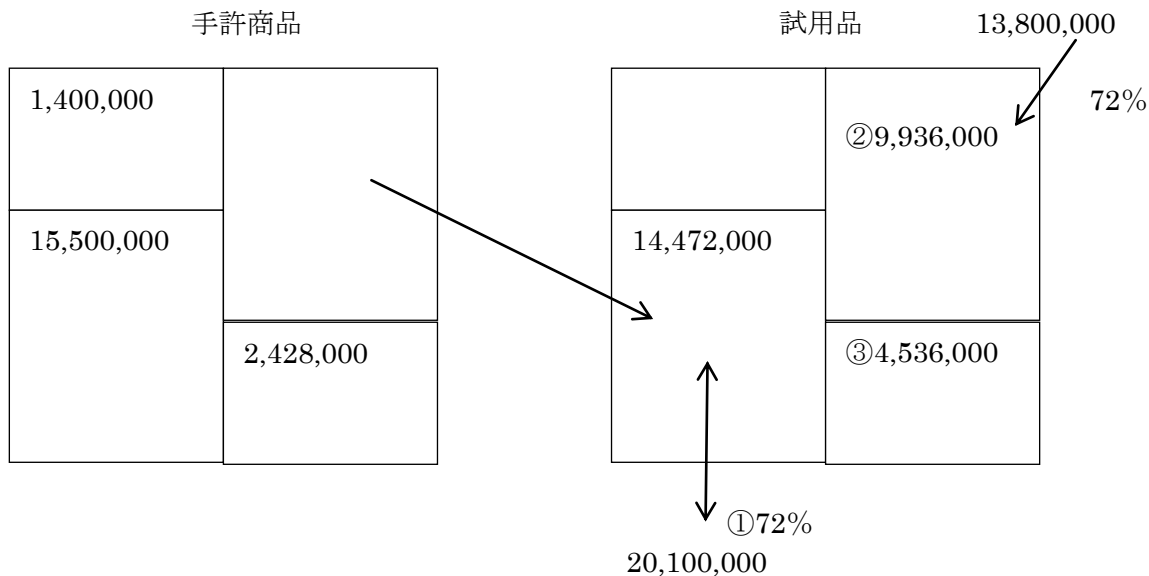
①積送品 520,000 / 仕入 500,000
現金 20,000

⑤当座 362,000 / 積送売上 430,000
積送諸掛 38,000 販売諸掛
支払手数料 30,000

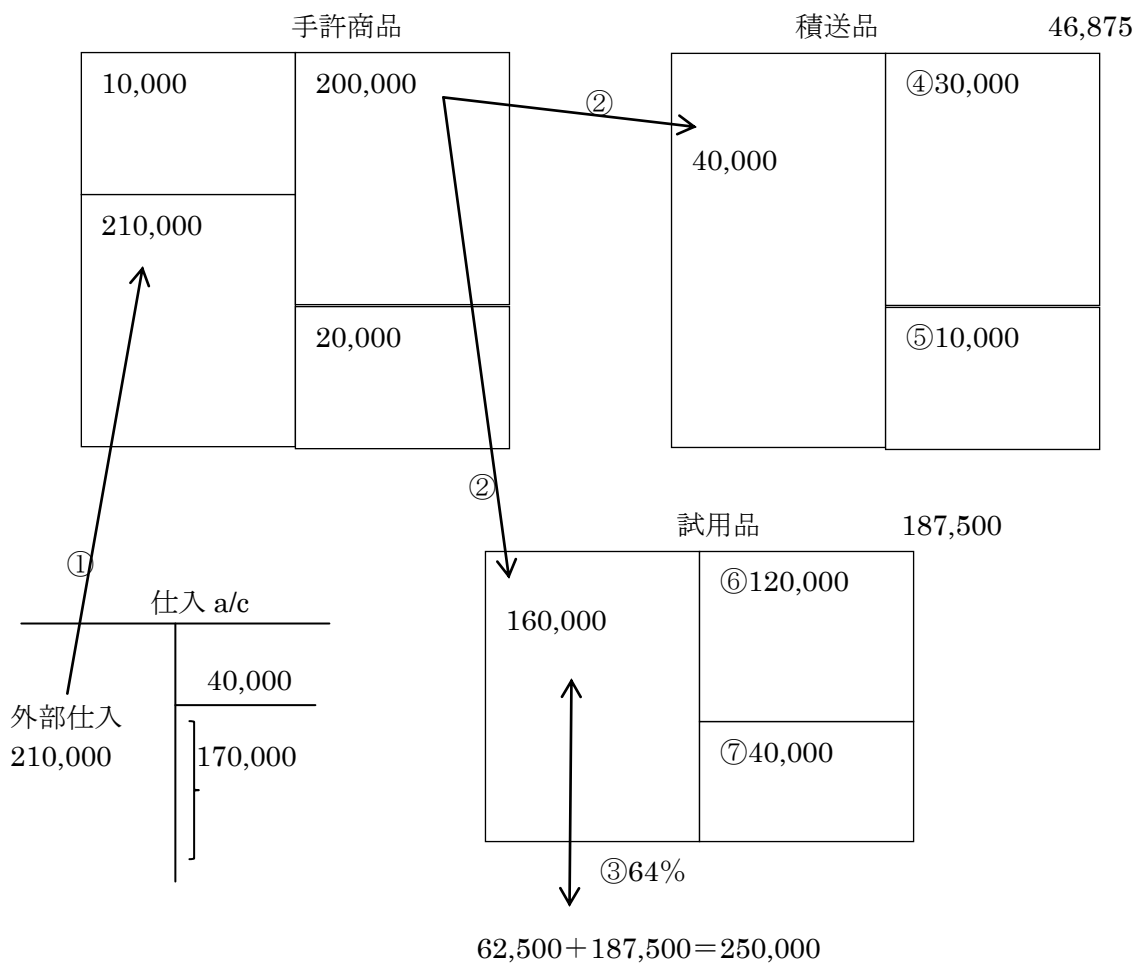
⑥仕入 520,000 / 積送品 520,000
積送品 260,000 / 仕入 260,000
繰延積送諸掛 19,000 / 積送諸掛 19,000（半分は売れ残っている）

P 1 0 は 2 級 の 復 習 に な り ま す 。 確 認 し て お い て 下 さ い

P11 (例題) 対象勘定法 [無料動画はここから]



練習問題 (P13)



次回の割賦販売のあとに、全経 168 回と日商 128 回の過去問ゼミをご確認下さい。
総合問題です。